

みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

No.101

2019年 1月(新春号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています。

今後の会議の予定

第2回役員会 日 時 平成31年3月3日(日) 10時~下松市中央公民館

第3回役員会 日 時 平成31年6月2日(日) 10時~下松市中央公民館

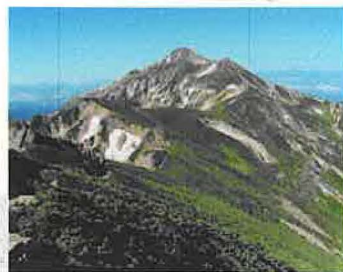
第4回役員会 日 時 平成31年9月1日(日) 10時~下松市中央公民館

表紙説明

夜明け(槍ヶ岳の日の出)

槍ヶ岳(3,180m)は北アルプス飛騨山脈南部に位置し、長野県松本市・大町市・岐阜県高山市の境界にある山。日本で標高5番目の日本百名山。

写真：槍ヶ岳 左側の尖峰はアルプス一万尺(3,030m)の小槍。従って、右の大槍と左の小槍の標高差は150mとなる。



笠ヶ岳(抜戸岳の稜線より)

笠ヶ岳への3ルートの内笠新道を登り笠ヶ岳へ。

登山道は高山植物の宝庫で、ハクサンイチゲ、ハクサンシャクナゲ、ハクサンチドリ、アオノツガザクラ、チングルマ、ミヤマキンポウゲ、シナノキンバイ、ムシトリスミレ etc.の花を観察しながら急坂を喘いだ。

笠ヶ岳山荘に宿泊し、翌朝笠ヶ岳山頂へ。その折撮った日の出の写真。

笠ヶ岳は、槍ヶ岳と同じく岐阜県高山市にある山で、標高順位は34番目の日本百名山。笠ヶ岳の山名の由来は笠を伏せた様な山容による。

撮影：笠ヶ岳(標高：2898m)山頂より 第2支部 黒田 義則

新年にあたり

会長 大田 和彦

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

会長を引き受けて早3年が過ぎました。去年は、会員の関心や希望を知るためのアンケート調査を行いました。90名の会員中回答があったのは僅かに23名でした。半数以上の回答が欲しかったのですが残念でした。しかし、回答から会員の関心が植物にあることが判りました。そこで、10月に秋吉台で植物観察会と講演会を行いました。周知不十分のため参加者は少数でした。今年は、周知を徹底し参加者が沢山集まれるようにしたいと思います。また、第3支部長に新たに増野和幸氏が就任されました。陸貝の専門家でもありますので、6月にはカタツムリの観察会を是非実施したいと考えています。

現在の会員数は90名で、少子高齢化のため減少傾向は変わらず毎年10名近く退会されています。総会への参加者は15名で、去年より4名増えましたが、委任状は34通しかありませんでした。寂しい限りです。

会の活動が充実発展するためには会員の活動・協力が欠かせません。会員個人で活動すると共に各支部での活動も活発にしてほしいと思います。本部や支部の観察会や研修会には多くの会員が積極的に参加されるようお願いします。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたします。

E-mailアドレス連絡のお願い

連絡の迅速化と効率化のためにE-mailを活用したいと思います。大田会長宛に空メールを送ってください。観察会や交流会の申込、原稿依頼のお願いなどに利用させていただきます。

大田和彦 ota.red@kvision.ne.jp

中国地方 5 県交流会に参加して

第 6 支部：萩市 中本 幸男

蒜山に 自然児集い 秋深し

さちお

正式には、NACS-J 自然観察指導員中国地方 5 県交流会—岡山 2018、は岡山県の蒜山高原、毛無山で開催（1泊2日10/27、28、津黒高原荘泊）されました。

交流会は①地方自然観察②情報交流③懇親④人間観察を目的としています。

参加者は山口県 7 人、広島県 5 人、島根県 13 人、鳥取県 9 人、岡山県 16 人計 50 名、交流会は 1 年ごとの持ち回



見事なブナの森

りで（岡山県、島根県、鳥取県、広島県、山口県）の順で引き受けます。

観察は、蒜山高原では①鳩が原フサヒゲルリカミキリ生息地 ②小内海谷サクラソウ保護区 ③講演会は：蒜山郷土博物館館長前原茂雄氏から「蒜山：自然と人間との関係史」として豊かに残る自然と調和した暮らしを、課題を交えてお話しいただきました。④翌 28 日、毛無山のブナ林植生を、登山班登頂と森林セラピー班に分かれ散策、豊かな自然を楽しみました。

また、前日、真庭市蒜山高原の草原が、人による「山焼き」によって植生が保たれ、人の手入れと自然の関係、斜面のサクラソウなどの保護が積極的に図られていることも確認されました。



サクラソウの自生地

「余話」

翌28日毛無山6合目にて自然観察（キバナアキギリ発見受粉の仕組み解説）

（自然観察指導員：島根県立三瓶自然館学芸課 企画幹 星野由美子さん）

キバナアキギリは、シソ科アキギリ属で、本州・四国・九州に分布する多年草、丘陵地帯から山地にかけて、明るい夏広葉樹林や林縁陰などに生育し、適潤地などやや湿った場所に生育します。特徴として、茎の先端の花房に黄色の唇形をした花が咲きます。ミツバチのマルハナバチが蜜を求めて、花の奥にもぐり込もうとすると葯が奥に押され、それによってシーソーのもう一方である花粉の付いた雄しべが下がってくると言う仕組みです。ハナバチ以外のほかの虫には反応しません。この仕組みは、今日までの太古の昔から虫とともに生きてきた虫と植物の合理的な進化の形態の一つであるといわれています。

〔交流会来年は、島根県です〕



毛無山での自然観察



【集合写真1】

宿舎前での撮影

別れを惜しみます

【集合写真2】

毛無山頂での記念撮影

笑顔がこぼれます



「秋吉台の草原」講演会・観察会に参加して

会長 大田 和彦

10月14日午後秋吉台科学博物館において、秋吉台科学博物館特別専門員荒木陽子氏の講演が行われた。秋吉台の草原の生成と現状についての説明の後、草原を守るためには山焼きが必要であると力説された。秋吉台の草原は、100年前から7割も少なくなっていること、草原が減ったのは牛馬の餌、畑の敷物や田の肥料、屋根の材料、薬草などに使われなくなったため、草刈りをやめてしまい草原が森に変わったからとのこと。

秋吉台草原の活用と保全を目的に平成20年に「秋吉台草原ふれあいプロジェクト」が発足した。荒木氏はこの会の副代表兼事務局を担当されている。活動内容は、草原野草を守り草原を復元するための草刈りや山焼き、植生や開花数などの調査などである。秋吉台草原ふれあいプロジェクトでは、ボランティアを募集しているので興味関心のある方は是非応募してほしいとのことである。

観察会

講演会の後、長者ヶ森駐車場に移動し、荒木氏の案内で草原や野草の観察を行った。駐車場から草原を見ると一面黄色に覆われているところがあった。セイタカアワダチソウの大群落である。これを刈らなければ2.5mにも成長するらしい。



草原の大切さを説く荒木陽子特別専門員

察した植物は、ヤマジノギク、シラヤマギク、ヒメシオン、マルバハギ、ツクシハギ、サワヒヨドリ、キキョウ、ススキ、メガルカヤ、ヒメヨモギ、オトコヨモギ、カワラケツメイ、スミレ、ヒメキンミズヒキ、モロコシガヤ、ヒメアブラススキ、オガルカヤ、カワラナデシコ、アキノキリンソウ、リンドウ、オトギリソウなどである。これらの植物をはじめ秋吉台の生物や地質を大切に守っていききたいものである。



ヤマジノギク



ヒメシオン

第1支部 平成31年度活動計画

- ・平成30年12月 セツブンソウ自生地保全活動並びに古市節文草保存会総会
- ・平成31年 2月 セツブンソウ自生地公開前整備活動
- ・平成31年 2月中旬 セツブンソウ自生地公開：15日（金）～17日（日）
- ・平成31年 5月 研修活動
- ・平成31年 7月下旬 セミの脱け殻調査
- ・平成31年 9月 セツブンソウ自生地保全

第2支部 平成31年度活動計画（本部と共催）

- ・平成31年4月中旬 カタクリ自生地保全活動
- ・平成31年4月下旬 ヒゼンマユミ自生地保全活動
- ・平成31年4月29日 カタクリの定点観察と環境学習
- ・平成31年5月上旬 ヒゼンマユミ自生地保全活動
- ・平成31年5月上旬 ヤマシャクヤク自生地保全活動
- ・平成31年7月下旬 切戸川水生生物調査
- ・平成31年10月中旬 カタクリ自生地保全活動
- ・平成31年10月中旬 小五郎山登山道整備・植生調査
- ・平成31年10月下旬 ヒゼンマユミ自生地保全活動

第5支部 平成31年度活動計画

つのしま自然館行事

- ・打ち上げ貝観察会

平成31年2月2日（土）9：30～13：30 大浜海岸：自然館下

- ・春の探鳥会

平成31年3月2日（土）9：30～13：00 角島一円

～詳細は、つのしま自然館 TEL. Fax兼083-786-0430へ～

平成 31 年度 第 3 支部 活動計画

2019 年

5 月上 里山に生きる小動物観察会 (ヤマネ)

場所：山口市 指導者：田中 浩氏 (県立山口博物館)

6 月 30 日 (土) かたつむり観察会 (県指導員協議会 共催行事)

場所：岩国市城山・吉香公園

指導者：増野和幸氏 (豊田ホテルの里ミュージアム)

8 月～10 月 森林の多様性を学ぶ観察会 (現地観察会)

場所：京都大学フィールド科学教育研究センター (周南市)

指導者：施設管理職員

10 月～11 月 キノコ観察会

場所：未定

指導者：川口泰史氏 (キノコ研究者)

*第 3 支部の皆さんへ

この度、中野伸治先生から第 3 支部長を引き継いだ、増野和幸です。支部には長年所属していましたが、定期的な活動には参加できず、皆さんには申し訳なく感じていた次第です。今回、大先輩の中野先生のあとを引継ぐことになりましたが、どのように活動を運営していくべきか、まったく分からない状態です。自然観察指導員の役割も以前とは変わってきているとも考えております。

いずれにしましても、支部の活動を継続していかなければなりません。どうか、可能な範囲で結構ですので、ご協力、またご意見等をお聞かせ願えたらと思います。

上記に平成 31 年度の活動予定を掲げました。あくまでの計画です。ご助言がありましたらお聞かせください。

なお、お願いです。第 3 支部のみなさんには、行事の詳細、参加希望者等情報を送付する関係で、携帯電話のメールアドレスか、自宅パソコンのメールアドレスをお知らせ願えたらと思います。空メールを下記のアドレスに送信してください。メールが利用できない方は、別の方法を考えますので、葉書か電話でも結構ですので、その旨連絡ください。

以上、よろしくお願いいたします。

第 3 支部長 増野和幸

メールアドレス : kmashino@js4.so-net.ne.jp

090-8997-3368

2019 年（平成 31 年）度 第 6 支部（北浦自然観察会）行事計画

2018 年

- 11 月 18 日（日）山口市三ツヶ峰・野道山縦走 紅葉
- 11 月 29 日（木）～12 月 2 日（日）萩市中央公民館 合同作品発表会（写真の展示）
- 12 月 16 日（日）萩市川上権兵衛山・湯ノ瀬のツルマンリョウとオシドリ

2019 年

- 1 月 13 日（日）長島町上盛^{かみさかり}山
- 2 月 24 日（日）岩国市白滝山
- 3 月 24 日（日）山口市阿東十種ヶ峰
- 4 月 21 日（日）岩国市雲霞山・熊ヶ山 ニリンソウ
- 5 月 6 日（月）福岡県犬ヶ岳 ツクシシャクナゲ
- 5 月 11 日（土）、12 日（日）江舟岳のホンシャクナゲの観察会 一般参加
- 6 月 9 日（日）萩市田床山のイシモチソウ。ササユリ等
- 6 月 29 日（土）、30 日（日）一泊（筋湯温泉）二日 大分県涌蓋山（わいたさん）（149、5m）、吉部^{よしべ}のワタナベソウ、タマガワホトトギス
- 8 月 18 日（日）萩市吉部^{よしべ}の大將陣、三戸原のサギソウの湿地
- 9 月 22 日（日）広島県雲月^{うづき}山
- 10 月 20 日（日）第 6 支部会（北浦自然観察会総会）
- 10 月 26 日（土）、27 日（日）中国地区交流大会：島根県予定
- 11 月 2（土）、3（日）一泊二日 大分県黒岳 高塚山（1587m）・天狗岩、佐賀関半島

番外（会員のみ）

- 7 月 26（金）～29 日（月）三泊四日 屋久島 宮ノ浦岳・縄文杉縦走（寝袋持参）、
携帯用ガスコンロは一部の人が持参

長野県奥穂高岳・涸沢岳・上高地の自然と植物（中編）

第6支部 永井要明



2018年8月18日は岳沢小屋を出発前に、まず集合写真を撮った（左）。

そして5:50に出発した。出発直後、ジャコウソウかと思った植物があったがミソガワソウのようだ（下左）。小屋のすぐ上にはお花畑がある（下中）。お花畑を過ぎると重太郎新道らしいはしごとクサリが出てくる。間もなくカモシカの立場という所に出た。見晴らしがきく。ここでも記念写真を撮った（下右）。



下左の写真はそこから乗鞍岳方面を見たものである。さらに登ると、多分ノウゴウイチゴだろうと思う植物が赤い実をつけていた。美味しい。後日Kさんよりベニバナイチゴではないかと指摘があった。調べてみるとノウゴウイチゴは果実が直径約8mmで、私たちが見たものは直径が15mm以上有ったのでベニバナイチゴだと思う（下中）。



その後、鎖場を経て岳沢パノラマに到着した（上右）。標高は約2640m。そこから奥穂高山頂方面を見た（次頁上左）。もう少しという感じだ。



さらに登っていくと、イワギキョウがあった（上中）。萼裂片に粗く尖った鋸歯があるので、チシマギキョウではない。次はウサギギクである（上右）。ウラジロタデもある（下左）。



その他、ハリブキ、トウヤクリンドウ、コケモモ、コバイケイソウ等もあった。

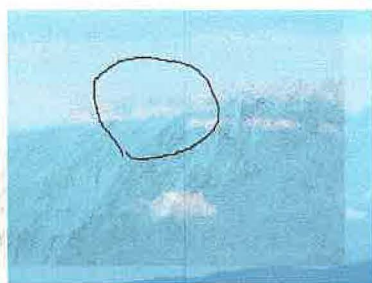
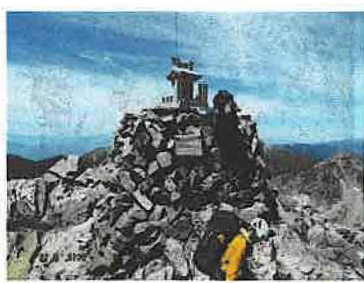
そして9:05に紀美子平（2870m）に着いた（上右）。平らなところはあまりなく、狭いところに30人くらいの人が休憩を取っていた（上中）。にぎやかである。

ここまで来れば山頂は間近だと思えた。ところがここからが大変だった。歩き始めて間もなくヤマハハコがあった（下左）。



しばらくは崩石帯のトラバース（巻き道）を歩く。坂は緩やかだがここが案外危ない。私の少し後ろで滑落した人がいて、仲間が駆けつけ、ふらふらしながらも歩きだしたので少し安心した。このコースは登りでは事故は少なく、事故に遭うのは下りの人だと本に書いてあったが、その通りだった。最初のコル（鞍部）を過ぎると間もなく尾根に出て瀧沢カール（氷河に削られてできた円形のくぼみ）が見える（上中）。すでに3000m近いが、ミヤマダイコンソウがガレ場にある（上右）。

このあたりから鎖場が連続する。かなり疲れも出てきて足が重い。何度か尾根に出て槍ヶ



岳が見えるところまで来た。標高 3100m 付近だ（上左）。南陵の頭を過ぎると山頂はすぐそこに見える。緩やかな坂を少し下り、もう一度登ると奥穂高岳山頂だ。11 時 40 分。登り始めてから 5 時間 50 分で、休憩時間を除けばほぼコースタイムと同じである。

山頂には小さな祠があり（上中）、記念写真を撮る人も多い。東南東の方向を見ると、南アルプスの向こうにかすかに富士山が見えた（上右丸印の中）。山頂からの眺めは誠に壮大で美しい。天気も良く最高だ。



南西方向は西穂高岳方面である（上）。その中でジャンダルムには人の姿が見える（上中）。

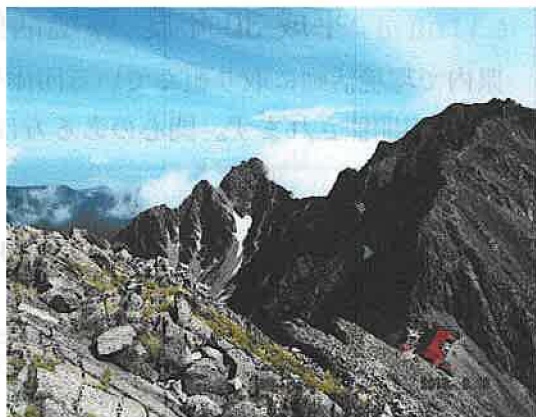
山頂からもう一度北の槍ヶ岳方面を写した（上右）。中央が槍ヶ岳、左下が涸沢岳、その右に北穂高岳が見える。記念写真を撮った（下左）。11:55 に穂高山荘に向かって下山を開始した。



下山を開始して間もなく、もう一度ジャンダルムを写した。先ほどよりかなり人が増えている（上右）。紀美子平からトウヤクリンドウを沢山見たが、花が開いていない。仕方なく花卉が閉じたものを一枚撮った（上中）。

穂高山荘に着く直前にも危険な難所がある。用心しながら下って行った。13:15 に穂高山荘に到着した。少し休んで涸沢岳（3103m）に登った。涸沢岳は「ヤマケイ アルペンガイド 花の百名山」には載っているが、穂高山荘側にはこれといった植物はない。

山頂で記念写真を撮った（左下）。登ったのは5人で他の三人は途中でやめて山荘で休んだ。



上右の写真は涸沢岳から奥穂高岳（右）、前穂高岳（左）方面を写したもので、右下に穂高山荘が見えている。14:55 に再び小屋に帰ってきた。小屋の屋根の上で楽しそうに休んでいる女性を見た。山荘の従業員の一人らしい。

山荘で着替えをしたり、休憩したりした。16時頃だったろうか、ブロッケン現象が見られるというので外へ出てみた。朝ではなく夕方でも見られるのかと不思議な気持ちで外に出かけた。沢山の人が山荘の東側の縁で太陽を背に何かを見ていた（下左）。

涸沢に向かって200m～300m
下の方に霧の塊があり、その霧に
円形の虹の輪が見える（横右）。

その中の黒い影が自分の姿らしく、手を振ればそれが映るし、体を傾ければそれも映る。自分の影



はかなり大きく映っている。自分以外の人はずぐそばにいる人しか映らない。沢山の人がブロッケン現象を見ているが、それぞれが円形の虹の輪の中の自分の影だけを見ているのである。実に不思議な現象で、光学的にはどのような説明がされているのだろうか疑問が起きた。こういうものが見られたのも天気が良かったからで、大変幸運だったと思う。

山荘は標高2983mのところにある。岳沢小屋よりもかなり高いところなので、さぞかし寒いだろうと思っていたが、それほどでもない。昨日よりは気温が高いようだ。山荘の中には薪ストーブの暖炉もあるし、乾燥室もある。私たちの寝る部屋は廊下を隔てて乾燥室のとなりである。薪ストーブの暖炉のある部屋の隣でもある。今回は男も女も同じ部屋である。毛布が2枚有り、それを体の上と下に敷くとかなり暖かい。午後8時頃には眠った。

（後編に続く）。

平成 30 年度 環境活動団体等交流会開催について

県内で環境活動に取り組んでいる団体等が取組や課題等について、意見交換をする交流会が開催されます。関心のある方はご参加ください。

平成 30 年度環境活動団体等交流会実施要領

1 趣 旨

環境活動に取り組んでいる団体等が、活動状況や課題等について情報を共有し、課題解決に向けた方途について意見交換を行うことで、活動を一層促進することを目的とする。

《構成》

環境活動団体(157)、環境学習施設(18)、環境学習指導者(124)、県・市町環境学習担当課・センター(30)、環境学習推進センター

2 主 催

公益財団法人 山口県ひとづくり財団 (県民学習部環境学習推進センター)

3 日 時

平成31年2月 3日(日) 13:30~16:00

4 場 所

山口県セミナーパーク 研修室205

5 参加者

環境活動団体の会員、環境学習関連施設の職員、環境学習指導者
県・市町の環境学習担当者、センター職員

6 日程・内容

13:15~13:30 受付

13:30~13:35 開会

13:35~14:00 事例発表①【環境活動団体】

県東部海城にエコツーリズムを推進する会

会長 藤本 正明 氏

「山口県東部の環境を守る取組みについて〜ア

ワサゴの調査・保護とエコツーリズムの推進〜」

14:00~14:25 事例発表②【環境学習指導者】

平成30年度山口県環境学習功労者表彰受賞

環境アドバイザー 村本 禎子 氏

「自然に親しんで学ぶ環境保全」

14:25~14:50 事例発表③【環境学習施設】

豊田ホテルの里ミュージアム

館長 増野 和幸 氏

「ホテル・自然・人がつながる環境教育」

14:50~15:00 休憩

15:00~15:25 事例発表④【行政・センター】

山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター

主査 田中 勇

「ESDの視点に立った環境学習の推進について」

15:25~15:55 意見交換会

15:55~16:00 閉会

7 申込期限

平成31年1月18日(金)

地域づくりに興味のある方はどうぞ！

2月中旬、セミナーパークで、「人づくり・地域づくりフォーラム in 山口」が開催されます。16日（土）には、山口県自然観察指導員協議会が環境保全の部で、会の実践や取り組みを発表します。都合のつく方は参加してみてください。

第14回 出会いが変える“あなたの未来”

人づくり・地域づくり フォーラム in 山口

人づくりを
元気創造の原点

先進的な実践事例の発表と交流を
とおして、新しい時代の人づくり・
地域づくりのあり方を学びます。



21世紀
松下村塾

平成31年

2月16日（土）・17日（日）

山口県セミナーパーク

（山口市秋穂二島1062）

参加費
無料

10:30～11:50

記念講演

『サンデーモーニング』コメンテーターが語る

「地域資源を

活かしたまちづくり」

講師

東京都市大学 特任教授
造園家・ランドスケープアーキテクト

涌井 雅之氏



問合せ先

山口市秋穂二島1062（山口県セミナーパーク内）（公財）山口県ひとづくり財団 生涯学習推進センター
TEL 083-987-1730 FAX 083-987-1760 E-mail: center@yamaguchi.kagayakinet.jp
かがやきネットやまぐち <http://www.kagayaki.pref.yamaguchi.lg.jp/>

主催

公益財団法人山口県ひとづくり財団

共催

山口県 山口県教育委員会

後援

山口県市町村 山口県市町村教育委員会 山口県教育委員会 山口県 PTA 連合会 山口県公立高等学校 PTA 連合会 山口県私立高等学校 PTA 連合会
一般財団法人山口県教育会 公益財団法人山口県生涯学習推進センター 公益財団法人山口県生涯学習推進センター 社会福祉法人山口県社会福祉協議会 中興・四興・九州地区生涯教育実践研究会
山口県公民館連合会 やまぐち県民活動支援センター 山口県 PTA 連合会 YAG 山口県 PTA 連合会 NHK 山口県放送局 山口県民

平成31年度第1回役員会議事録

開催日時・場所

日時 平成30年11月11日(日)10:00~12:00

場所 下松市中央公民館(ほしらんどくだまつ)交流室3

・出席 7名(黒田、植田、永井、平田、松原、脇田、大田)

議事

1 平成31年度定時総会

平成30年11月25日(日)10:00~14:00

下関市園芸センター技能実習室及びセンター内施設

総会議案書検討一部訂正

2 中国五県交流会

平成30年10月27日(土)~28(日)岡山県真庭市蒜山

50名参加、山口県から7名参加(黒田、永井、中本、平田夫婦、脇田、大田)

3 「みどりの風」編集会議

原稿締切 12月15日(土)

年4回発行を年3回発行にの意見が出た。併せて、メーリングリストを作成。総会と1月号で連絡。

・その他

第3支部長 増野和幸氏に決定

会員名簿の確認訂正

秋吉台草原ふれあい活動(ボランティア)には、個人で自主参加(口山)

＜ 編集後記 ＞

平成もあと4か月を残すのみとなりました。

自分自身も、もっともっと力を付けなければと思っていますが、まだ、道半ばです。

大田会長から、「空メールを送って」というお願いがありましたが、これも新しい試みとして皆様ご理解していただいて、ご協力をどうかお願いいたします。

今年も熱い原稿やレポートを速慮なく届けてください。会誌は皆様のご意見、ご報告で成り立っています。たくさんのご投稿お待ちしております。よろしく。(U)

山口県自然観察指導員協議会会誌
＜みどりの風＞

■発行 山口県自然観察指導員協議会

会長 大田 和彦

〒744-0043 下松市東陽 2-2-5

Tel(Fax)0833-46-0103

■機関誌編集長 植田 高弘

〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21

Tel(Fax)083-258-2706